

項	教育目標	重点目標(努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等
一人一人の自立に向けた力を伸ばす 特色ある神戸の教育を更に発展させる	自ら学び、たくましく生きる力を育む・共に生きる心豊かな子どもを育てる	自主的な活動の推進	リーダーの育成	・アサーション研修の実施。校内や地域でも生徒が講師となり、アサーション研修を行った。 ・餅つきや七夕まつり等地域行事にボランティアとしてたくさんの生徒が参加。学年の偏りがあった。	A	・校内掲示やHPなどを利用し、活動内容を積極的に発信し、周知を図る。 ・地域団体との連携を深め、生徒にとってより充実した内容になるように努める。	
			ボランティア活動の推進		B		
			部活動、生徒会活動の充実		A		
		規律ある態度と確かな学力の習得	特別支援教育の観点を生かした指導体制の構築	・特別支援コーディネータを中心に組織的な対応ができた。	A	・職員間の意識の差を解消するために、こまめな情報共有と研修機会の確保に努める。	生徒と分かり合えるようなコミュニケーションの取り方を考えていただきたい。
			基礎基本の定着	・毎週水曜日に放課後学習会を実施し、個人に応じた学習形態の推進。	B	・数学や英語の授業での少人数授業や同室複数授業の実現。	
			学習支援ツールの積極的な活用	学習支援ツールの利用により個に応じた学習ができた。	B	授業等で積極的に活用することで、家庭配信の利用も含め、生徒の利用率を高めていく。	
		いじめのない学校づくり	道徳教育の推進	・講師を招いて、生徒や教員対象のアサーション研修を実施。 ・小中合同での研修を実施。	A	道徳推進教師を中心に学校テーマに沿った年間カリキュラムの作成と評価についての共通理解	
			あいさつ運動の推進	「日本一さわやかなあいさつ」をモットーにあいさつ運動を推進。マンネリ化の脱却が課題。	B	生徒会執行部や学級委員を中心としたキャンペーンの実施。	・あいさつのレベルが下がっているとは思わない。好感が持てる。
			教育相談体制の構築	・職員を対象とした自殺予防研修の実施 ・いじめアンケートや教育相談の充実。	A	迅速かつ確実な情報の共有を心掛ける組織体制の構築	・いじめの早期発見をお願いしたい。 ・携帯電話の危険性を保護者が理解すべき。
		教職員・学校の魅力を高める	授業力の向上	「分かる授業」を目指した取り組み	・授業研究旬間を設け、個々の教員の授業力向上に努める。	B	TT、少人数授業等基礎学力の充実に向けた取組の推進
ICT機器の有効活用	・ICT機器の利用状況は少しずつ広がっているが、環境整備が整っていないのが現状。			B	新しい学習指導要領の全面実施に向け、教員の意識を高めるための研修等の実施		
業務改善(職員会議のペーパーレスと時間短縮)	事前に資料の検討を十分に行うことで会議時間の短縮 各会議の順番を工夫し、個々の意見が反映されやすいシステムの構築。		A	・学年や部会で十分に意見を吸い上げ、建設的な意見をもとに検討できる状況をつくる。	教師に余裕がないように感じる。 部活動ガイドラインを利用する。		
情報発信の充実(学校HPの更新頻度の向上)	・HPの更新の回数増加、内容も充実し、閲覧数アップ。		A	学年による温度差を解消し、全学年での取組を推進。	・行事ごとに保護者アンケートを実施していく方がよい。		
市民が自ら学びを支える	より充実した学校運営のためのPTAや地域関係団体との連携	・学校のよりよい運営のためにハード面やソフト面でPTA本部と連携ができた。 ・学校や地域の行事を通して、積極的な連携ができた。	A	積極的な地域との連携と教員の働き方のバランスの確保。	・学校とPTAが協力できる体制にしていきたい。		
	地域ボランティア等による学校支援体制の構築	・通常学級や特別支援学級の生徒の支援をはじめ、放課後学習室での見守り等。 ・人材確保に苦勞した。	A	地域や関係団体への積極的な情報発信。	・保護者と学校とのパイプ役になりたい。		